

憲法大集会開催を示したい

自由公政権による政策地攻撃能力の保有を認められた憲法改憲決定や改憲への動きが強まる中、3月19日開催された「SNS憲法大集会」。平和を希求する人たちが各地から、東京・有明防災公園に集まりました。最寄り駅から会場へは長い列が。参加者からは、世代を超えて「憲法を守れ」の強い思いが示されました。

「憲意がないがしろに」、「憲議決定されない」、「憲事が優先され、生活が壊されてしまうのが怖い」と語るのは、30代の会社員女性・埼玉真志未さん。SNSを見て初めて参加しました。



プラカードを掲げてアピールする人が多い

東京都江戸川区

うれます。「一人でも多く人が自分の意思を示していくことが大事。私もその一人になりたい」

東京保健生活協同組合の朝日将さん(34)は、大きな虹色の旗を持って参加。「改憲論者は」改憲で平和を失れるかのよ

うな無い方をしますが、実際には平和につながらないと感じます」といいます。「中国が怖いといつて軍事的に対抗するなら、いいの税金を集めても足りません。(私たち

は)外交でどう努力していかが議論しようとしています。一度戦争が始まれば、思うようには止められません」と話し、憲法に頼って外交が必要だと語りました。

父はシベリア抑留坂本蓮子さん(27)は西東京市では第一回から参加してきました。父親はシベリアに抑留された経験を持ちます。「父は戦争のことについて多くは語りませんでしたが、『戦争へ行きたくないかな』と書いていました」

坂本さんは中学生の時に大好きだった社会科の教員から憲法の大切さを学びました。教育関係で働くようになつてからも、先輩たから戦争の話を聞いてきました。

「やつぱりの条は大事。平和を守りたい」と言いました。

「平和でこそ釣りがでる」との横断幕持参で参加したのは、「漂流の衆の会」の渡辺政成さんです。「昨年には、特定

軍拡は隣国を刺激 東京都労働者スキー協議会の市川正幸さん(76)は「憲法があやしくなっている。とてもたつてもいいですねに来た。軍備の拡大で本当に日本の領土を守れるのか」と話します。日本の軍拡が近隣諸国を脅威する心配を懸念。自らスポーツクラブを運営する立場からも憲法が大切だと強調します。「平和な日本でないとスポーツはできないな」と語りました。

30年以上保育士として働く女性は軍拡よりも教育や年金などに税金を使つことを求めます。「市民が犠牲になるのが戦争。子どもたちを戦争に行かせたくない。あきらめず

「生活壊れる」SNS見て参加／虹色の旗持ち「外交努力を」

坂本蓮子さん(27)は西東京市では第一回から参加してきました。父親はシベリアに抑留された経験を持ちます。「父は戦争のことについて多くは語りませんでしたが、『戦争へ行きたくないかな』と書いていました」

坂本さんは中学生の時に大好きだった社会科の教員から憲法の大切さを学びました。教育関係で働くようになつてからも、先輩たから戦争の話を聞いてきました。

「やつぱりの条は大事。平和を守りたい」と言いました。

「平和でこそ釣りがでる」との横断幕持参で参加したのは、「漂流の衆の会」の渡辺政成さんです。「昨年には、特定

軍拡は隣国を脅威する心配を懸念。自らスポーツクラブを運営する立場からも憲法が大切だと強調します。「平和な日本でないとスポーツはできないな」と語りました。

30年以上保育士として働く女性は軍拡よりも教育や年金などに税金を使つことを求めます。「市民が犠牲になるのが戦争。子どもたちを戦争に行かせたくない。あきらめず